

平成29年度 関西高等学校ゴルフ選手権大会（高校女子の部）

《競技規則》

主催 関西高等学校ゴルフ連盟
後援 スポーツニッポン新聞社

開催期日 平成29年度6月24日（土）・25日（日）
開催場所 グランベール京都ゴルフ倶楽部 イーストコース

ローカルルール

- アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他の区域に止まった球は、アウトオブバウンズの球とみなす。
 - ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示し、杭と線を併用する場合は線が境界を標示する。
 - 修理地は青杭又は白線をもってその限界を標示し、プレー禁止の修理地である。プレーヤーの球がその区域内にある場合や、その区域がプレーヤーのスタンスや意図するスイングの区域の妨げとなる場合には、プレーヤーは規則 25-1 による救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
 - 樹木の支柱、マンホール、カート道等は動かさない障害物とする。
 - 電磁誘導カート用の人工の表面を持つ軌道（一部2本）は、全幅をもってカート道路とみなす。プレーヤーの球がこのカート道の上にある場合や、その区域がプレーヤーのスタンスや意図するスイングの区域の妨げとなる場合には、競技者はゴルフ規則 24-2b(i)の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
 - 防球ネットからの救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなく、ニアレストポイントを決定しなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
 - 規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカがプレーヤーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカは規則 18-2, 20-1 に規定されている通りにリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
- 注：パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。そのような状況で動かされたボールマーカはリプレースされることになる。

競技の条件

- ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則及びこの競技のローカルルールを適用する。
- 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- 使用球の規格
『公認球リストの条件・ゴルフ規則付1(B)1b』を適用する。（ゴルフ規則177頁参照）
- 使用クラブの規格
(1)『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付1(B)1a』を適用する。（ゴルフ規則176ページ参照）
(2)『2010年1月1日施行の溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』（裁定4-1/1）を適用する。
- 競技終了時点
本予選競技は、競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
- ホールとホールの間での練習禁止
『ゴルフ規則付1(B)5b』を適用する。（ゴルフ規則181ページ参照）。
- プレーの中断と再開
(1) プレーの中断（落雷等の危険を伴わない気象状況）についてはゴルフ規則6-8b, c, dに従って処置する。
(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は**競技失格**（ゴルフ規則6-8b注）とする。
(3) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断：長いサイレンを継続的に鳴らしてマイクで通報する。
険悪な気象状況による即時中断：短いサイレンを継続的に鳴らしてマイクで通報する。
プレー再開：長いサイレンを継続的に鳴らしてマイクで通報する。
- キャディ
正規のラウンド中、競技者のキャディ使用は禁止する。この条件の違反罰は『ゴルフ規則付1(B)2』を適用する。

大会注意事項

- 参加者は、各自スタート時間の30分前までに大会受付（アピアー）を行うこと。
- 大会当日、軽食を用意しています。ハーフターンチェック後にパーティ単位で大会本部に来ること。
- トップスタートはイーストコース、アウト・インそれぞれ7時30分とする。開会式は行わない。
- 練習は打球練習場（指定打席：アイアンのみ使用可、ワンコインのみ）、パッティンググリーンは認める。アプローチ・バンカー練習場の使用は禁止する。
- 日本ゴルフ協会発刊（2016年版以降）のルールブック・この競技規則を必ず携帯すること。
- スタート時間の10分前には必ず、ティグランド周辺に待機すること。
- プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。プレーの不当の遅延は、ゴルフ規則6-7により罰せられる。
- ラウンド中（スタートから18ホール終了するまで）、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、ゴルフ規則8により罰せられることがある。なお、部外者のコース内の立入りは禁止する。
- 目土袋、スコップ、グリーンフォークは必ず携帯し、目土、グリーン上のピッチマークの修復を励行すること。
- 服装については、日本高等学校ゴルフ連盟服装（ユニフォーム）規定に準ずる。
 - 茶髪等の染髪、ピアス等のアクセサリは禁止する。（公式指定ラウンド日も同じ）
 - 携帯電話等の電子機器のコース内持ち込みは禁止する。
 - ペットボトル、空き缶、その他のゴミ類は各自で持ち帰ること。
 - 競技終了後の表彰式には全国大会出場資格者は必ず出席すること。
※表彰式までの間、クラブハウス内でのマナーを守ること。（キャディーバック、ボストンバックの整理整頓）
- 公式指定ラウンドは、1球プレーを厳守すること。**

以上 競技委員長